

# ふれんど通信

第2号 平成19年8月28日  
発行 児童養護施設 ふれんど

## 日常生活の中で

施設長 吉岡一孝

昨年9月の開設以来もう1年が経ってしまいました。

8月1日現在50名の定員に対し、39名の在籍児童と他に一時保護児童5名がいて集団としてのボリューム感も出てまいりました。

その分いくらか賑やかになり活気も出てきていますが、丁度今(8月3日)は真夏の日差しの中で何人かの幼児さんが自転車に乗っている声が聞こえ、ゆったりとのんびりした時間が流れています。(小学生13名はサマースクールとプール、中学生は部活と高校見学で外出中です)

「ふれんど」誕生後1年弱ということで、人間で言えばまもなく独り歩きするところでしょうか?この間中学生による問題行動は若干ありましたが、大半は問題なく生活しており、小、中学とも学校からのお叱りもありません。

幼児さんはこの所自転車に補助なしで乗れるようになった児が相次ぎ、3歳になったばかりの児まで最近では3輪車をやめて小さな補助付きの自転車に乗っています。小学生は下校の際みんな大きな声で“ただ今”と事務室に声をかけて、棟に帰っていきます。当然私も“お帰り”と返事してきましたが、このやり取りの大切さを最近改めて再認識したところです。

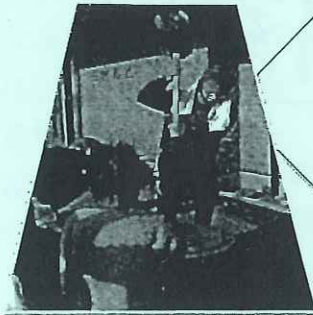
実は7月4～5日に関東の施設長研究協議会があり、その時に大正大学の村瀬嘉代子先生が講演の中で話されたことがあります。

『今、専門性が求められることが多いが日常性もまた重要である』

『日々の挨拶や食事、さりげない声かけやまなざしなど一見何気ない日常の営みに込められた配慮が意味を持つ』ということでした。

正に「わが意を得たり」の思いでした。「ふれんど」の養育基本方針の一つに《何気ない日常の生活と環境・雰囲気への尊重》ということがあります。村瀬先生が強調されたことにより意を強くし、再認識をしました。これからも施設全体に子供らしい明るいエネルギーが満ちていることは勿論、安らぎがあり、穏やかでゆったりとした雰囲気の中で自然な子供たちとの関わりを大切にしていきたいと思います。

# ふれんど行事報告



もちつき大会—園長自ら杵をふりあげて・・・  
おいしい餅がつきあがりました。  
腰は大丈夫なのでしょうか。



12月の風のない暖かい日でした。早朝からかまど、蒸籠を準備して、管理棟前でもち米を蒸しました。午前中一杯かけてもち米30kgをつきあげ、からみ、きなこ、大福などにして、みんなでおいしく食べました。子ども達の近所の友達も遊びに来ました。

「でかっ！でも、おいしい。」



クリスマス会—サンタさんは何を  
プレゼントしてくれた？

わたしはサンタさん  
が怖くて泣いてしま  
いました。じいじだ  
なんて・・・

子ども達の一番の  
お楽しみ。大勢の  
着ぐるみ達も参加  
してくれました。



誕生日会—誕生日当日の夕食は  
お好みのメニューです。  
4本のローソクは  
ひと息で吹き消せたかな？

もっと大きい  
ケーキのほう  
がいいなあ！

子ども達の誕生日の当日、各家ごとに誕生会を実施しています。誕生日のプレゼントは担当職員が、できるだけ希望を受け入れて、安い予算をやりくりして買っています。みんな喜んでくれてるかな？





## 2班に分かれてBBQ

5月末と6月初めの2回とも天候に恵まれて、食事だけではなく、遊びも楽しみました。炭も上手におこせました。

“肉 落とした！  
もったいねえ”

ここにあった肉食べたの誰だ？まだ、やけてねえぞ



あっちのほうかうまそうだなあ

だから、ピースはやめろって！

イエーイ



## 昼間保育 《いも掘り》

ぜんぶわたしのおーっ！



ぼくがほったんですけど

わたしはじぶんのもってるもーん



3月末に近所に住んでいる職員の家の畑を借りて、じゃがいもを植えました。6月の天気のいい日にみんなで掘り出しました。ジャガバタやポテトサラダにしました。



## さきたま古墳公園でお花見

つーか、暇なんすけど

天気が悪く寒い日でした。桜も予想に反して遅れてしまい、ほとんど咲いていませんでした。子ども達にはどうでもいい事でしたけれど・・・

食べ終わったらなにすっか？



花見ってこういうもんなの？

あったかけりゃ、もっとうまいかなこれ？



書記としてふれんどの一員になりましたが、仕事を早く覚えて時間的にも内容的にも余裕を作り、積極的に現場に関わって行く積りです。

東田  
書記

渡辺  
保育士

フリーの職員として主に女子棟を担当することになりました。今までの経験が活かせるように、あせらずじっくりと取り組んでいきます。

園田  
保育士

毎日が発見！日々研修！  
毎日がオドロキと発見の連続。くたびれている場合じゃないです。日々研修の気持ちで子ども達と過ごせたらと思っています。

新たに3人の職員を迎えふれんどもいよいよ充実してきました。正に“乞うご期待！”という気分です。

ふれんどのアリ地獄

現在総勢24名のスタッフで、試行錯誤しながら鋭意取り組んでいます。

## 新加入スタッフ紹介

## 厨房職員紹介

ふれんどの食育部門の精鋭部隊です

おいしく作るから好き嫌いせずに野菜も食べてね。

鯨井  
調理員

豊田  
栄養士

毎日のメニューを考えるのがとても大変ですが、喜ぶ顔が見たくて頑張っています。

青田  
調理員

何が一番人気があるのかな？時々感想をきなせてね。

鶴見  
調理員

毎日みんなの元気な笑顔が見られて嬉しいです。沢山食べて大きくなってね。

栄養士と3人の調理員で、ふれんどの子ども達の元気(?)な胃袋を満たすべく毎日おいしいご飯を作っています。朝食は食材を半加工したものを前日の夕食と一緒に出ししてもらいそれぞれの家の担当が調理しています。鱈のひらきを焼いたり、スクランブルエッグを作ったり。子ども達も手伝ってくれます。